

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	05	まちづくり推進実践活動事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			鈴木	63356

事業の概要									
事業の概要		市民自治の実現のため、区民と行政の協働により、地域の課題について検討及び実践活動を行います。また、市民活動の活性化を図ることを目的に、区民と行政の協働により、中原区内で活動する市民活動団体に対し支援を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		—	令和3年度						
地域の課題と現状		市民活動団体は増加傾向にある一方で、市民活動団体への支援が求められています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,759	1,309	1,759	1,715	1,759	1,734	1,700	1,686
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,759	1,309	1,759	1,715	1,759	1,734	1,700	1,686

計画 (Plan)	
事業の目的	区民と行政の協働により、地域の課題について検討及び実践活動を行うことで、市民自治の実現を図ります。また、区民と行政の協働により、中原区内で活動する市民活動団体に対し支援を行うことで、市民活動の活性化を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まちの課題を区民自らが調査・検討し、区民自らができる手段・方法で、課題解決に向けた実践活動を実施</li> <li>● まちづくり推進委員会と協働で、市民活動団体の活動支援を実施</li> <li>● 事業の終了に向け、総括を実施</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・ららテラス武蔵小杉と共催で中原区の魅力を伝える「なかはら写真展」を開催 ・中原区PR Movieの制作(撮影場所の選定、出演者の交渉、撮影、校正など) ・市民活動団体の紹介冊子「なかはらっぱの仲間たち2022」の発行 ・中原区民交流センター(なかはらっぱ)のリニューアル(無印良品との連携)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1		目標						
			実績						
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
実績									
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		市民自治と多様な価値観を前提とした豊かで持続可能な都市型コミュニティの形成が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		市や区における中間支援組織のあり方や、これからのコミュニティ施策の基本的考え方を踏まえ、令和4年3月末でまちづくり推進委員会の活動を休止すると、団体等と調整を行いました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	多様な価値観を前提とした、新たなコミュニティを検討する必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区内の市民活動団体は着実に増加しております。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	令和4年3月をもって本事業は終了しました。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
市や区における中間支援組織のあり方や、これからのコミュニティ施策の基本的考え方を踏まえ、令和4年3月末でまちづくり推進委員会の活動を休止しました。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	10	中原区イメージアップ推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			稲葉(洗)	63356

事業の概要									
事業の概要		川崎市都市計画マスタープランの中原区構想におけるめざすべき都市像の実現に向けて、「区民が実践する中原区のイメージアップにつながる魅力あるまちづくり」を区民との協働により推進します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		—	令和3年度						
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	331	323	331	330	331	9	331	264
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	331	323	331	330	331	9	331	264

計画 (Plan)	
事業の目的	「区民が実践する中原区のイメージアップにつながる魅力あるまちづくり」を区民との協働により推進することにより、川崎市都市計画マスタープランの中原区構想におけるめざすべき都市像の実現を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の景観向上に向けた取組を実施</li> <li>●事業終了に伴う、事業の整理・承継について検討する</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・6月、11月に花の配布会を実施 ・環境に関する講座については、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う活動自粛により、開催しなかった。 ・事業終了に伴い、花の配布会を花クラブ実行委員会に承継して継続していくこととした							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	花の配布会の実施	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	2	2	
	2	活動指標	講座の開催	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	0	0	
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるための新たな取組が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	多様な価値観を前提とした、新たなコミュニティを形成する必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	コロナ禍で環境に関する講座が開催できないなど、目標通りの成果は上がりませんでした。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	行政支援の終了に伴い、活動を終了します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III
		行政支援終了後は、活動を終了しますが、花の配布会は花クラブ実行委員会に承継して、継続していきます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	15	市民活動活性化事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		鈴木	63356	

事業の概要									
事業の概要		市民活動団体の活動支援のため、中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを、市民活動団体が主体となり運営します。また、市民活動の活性化のため、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		—	—						
地域の課題と現状		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,798	1,701	1,762	1,692	1,770	1,256	1,681	1,605
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,798	1,701	1,762	1,692	1,770	1,256	1,681	1,605

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを市民活動団体が主体となり運営することで、市民活動団体の活動を支援します。また、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出することで、市民活動の活性化を推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●中原区民交流センター「なかはらっば」の団体による自主的な運営の推進</li> <li>●なかはら市民活動の集い「なかはらっば祭り」の開催</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中原区民交流センター「なかはらっば」の運営</li> <li>・市民活動の集い「なかはらっば祭り」は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、開催方法を工夫し、グランツリー武蔵小杉での活動紹介のパネル展示や動画の放映等を行いました。</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	中原市民活動の集い「なかはらっば祭り」の開催	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1	0	1	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		中原区役所5階に設置している中原区民交流センターを市民活動団体が主体となり運営することで、市民活動団体の活動を支援します。また、市民活動団体と区民との交流や活動の周知、団体間の交流を推進する機会を創出することで、市民活動の活性化を推進します。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		コロナ禍において、イベントの開催方法を工夫するほか、徹底したコロナ対策による区民交流センターの運営管理を行った。運営団体のまちづくり推進委員会が令和3年度で活動休止となったため、休止後の区民交流センターの運営団体となる「中原区民交流センター利用者の会」を立ち上げた。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	市民自治の実現や市民活動の活性化へのニーズは依然として高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区内の市民活動団体の活動は着実に活性化しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	自主運営の推進に向けた取組の検討が必要となっています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
区内の市民活動や地域コミュニティの活性化を促進するため、区民との協働により本事業を実施していくことが適切であると考えられます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	20	中原区広報・広聴推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			深谷	63121

事業の概要									
事業の概要		<ul style="list-style-type: none"> <li>区ホームページについて、最新情報やニーズが高い情報へのアクセスに配慮したページ作成を行います。</li> <li>研修等の実施により、職員の広報意識を向上させ、積極的な広報活動を推進します。</li> <li>地域メディアとの連携により、あらゆる媒体を活用した広報を行い、区の魅力情報や行政情報を効率的、効果的に発信することで、区民の地域に対する愛着心の醸成や、区のイメージ向上を図ります。</li> </ul>							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域コミュニティ活性化事業				
地域の課題と現状		子育て世代の転入や来街者の増加により、区民が多様化する中、区の現況や区民のニーズを的確に把握し、必要とされる情報や魅力情報を効果的に発信することで、地域コミュニティの活性化を推進していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,447	3,197	2,447	2,400	4,219	3,877	2,796	2,712
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2,447	3,197	2,447	2,400	4,219	3,877	2,796	2,712

計画 (Plan)	
事業の目的	区民に必要とされる情報や魅力情報を効果的に発信することで、地域コミュニティの活性化を推進します。
今年度の事業の取組内容	・地域メディアとの連携や地域資源を活用した効果的な情報発信の実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・地域メディアを活用した区の広報番組の情報発信のほか、区内JR各駅や区内各所に設置する情報コーナーへの市政だよりや地域メディアの広報紙の定期的な配架 ・広報公聴担当者会議の開催(新型コロナウイルス感染症対策として、2回書面開催するとともに、業務効率化のため2回分は照会や資料提供で対応した)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	広報公聴担当者会議の開催	目標	4	4	4	4	回
				実績	4	4	4	2	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		・インターネットの普及に伴い、区ホームページ等のアクセシビリティ向上が求められています。 ・子育て世代の転入や来街者の増加により、区民が多様化してきています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区民が増加し多様化する中、地域情報の浸透による地域愛の醸成や、新住民への情報提供の必要があり、ニーズは薄れていないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区のお知らせを配架できる民間施設が増えるなど、一定の効果があつたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	取組の目的や内容、効果的な広報手法の検討し、適正な予算執行や事務効率改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
事業の目的や方向性は維持するものの、地域メディアとの連携による情報発信には各メディアとの役割分担等の調整を踏まえながら実施していくほか、リーフレットの作成については、活用している現場の声を聞きながら編集内容を改善していきます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	25	商店街と連携した地域のまちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		菅原	63353	

事業の概要									
事業の概要		商店街を地域の情報交換や交流の場として活用し、地域の活性化に向けた取組を推進します。							
実施期間		事業開始年度 平成20年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
地域の課題と現状		中原区では、人口が増加する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、これまで地域コミュニティ活性化事業等を通じ課題に取り組んでいるところではあるが、加えて新型コロナウイルス感染症の影響により引き続き、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を提供し、地域を活性化していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	600	587	600	495	600	372	600	473
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	600	587	600	495	600	372	600	473

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区の状況を踏まえ、商店街を地域の情報交換や交流等の場としてとらえ、商店街の店舗を活用した各種教室や交流イベントを実施し、区民の交流機会の創出を図ります。
今年度の事業の取組内容	商店街の店舗を活用した各種教室及び地域交流イベントの実施

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>商店街の店舗を活用した各種教室を計6回実施しました。</li> <li>地域交流イベントについては、店舗や講師と打ち合わせ・調整などを行い、参加者募集の広報などといった開催に向けた準備を行っていたが、実施日において新型コロナウイルス感染症に係るまん延防止等重点措置が発出されたため中止となりました。</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	各種教室及び地域交流イベントの開催	目標	7	7	7	7	回	
				実績	8	8	0	6		
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の拡大が収束しないこの状況下でありながらも、昨年度から少ずつ状況が変化しつつあるため、社会情勢を鑑みた事業内容を検討しながら、いかに商店街を活用して地域の活性化に向けた取組を推進するかが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input checked="" type="checkbox"/> 今後実施(4年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		令和3年度においては新型コロナウイルス感染症拡大の状況により、各イベントにおける参加者数を制限していたが、令和4年度から見直す内容として、費用対効果の面を検討し、各イベントにおける参加者数を増やせるような事業内容を検討していく。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	コロナ禍である現在の社会情勢を踏まえると、地域の活性化に向けた事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症拡大により、開催予定であった地域交流イベントが中止となったため。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	コロナ禍での各種教室及びイベントの開催方法等について、さらに委託団体と協議を進める必要があるためです。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
社会情勢の変化に応じて、開催時期及び開催方法等の検討が必要であると考えられることから事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善のうえ継続することが適切であると考えられます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	05	35	小杉駅周辺の新たなコミュニティ推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		山下	63363	

事業の概要									
事業の概要		武蔵小杉駅周辺地域では、再開発により居住者が短期間で大幅に増加するなど街が大きく変貌しました。その中で、地域における災害対応や高齢化等の課題に加え、新型コロナウイルス感染症の影響等により街の魅力づくりや愛着づくりの重要性が増していると思定されるため、課題解決や価値創出に向け、地域住民や企業がコミュニティを形成しながらこれらを実現していくための下支えを行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域コミュニティ活性化事業			
		—	—						
地域の課題と現状		令和元年東日本台風の影響による地域のイメージダウンを経験したことにより、さらなる魅力づくりや地域の愛着づくりに向けた取組が重要性を増しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における滞在人口が増加し、地域における居場所づくりや居心地よく暮らしやすいまちなか空間の創出がより一層重要になっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,490	3,336	2,885	1,213	4,108	3,096	3,225	2,356
財源内訳	国庫支出金						1,200	1,107	1,107
	市債								
	その他特財								
	一般財源	3,490	3,336	2,885	1,213	4,108	1,896	2,118	1,249

計画 (Plan)	
事業の目的	武蔵小杉駅周辺地域の住民、企業等を対象としたコミュニティ形成支援の取組を行います。
今年度の事業の取組内容	本地域のコミュニティの課題解決に向けた取組の実施、地域の居場所づくりや魅力づくりをテーマとしたプロジェクトの実施、公共空間の活用に関する取組の実施。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	商業施設と連携した武蔵小杉を題材にしたお絵かきコンテスト、地域活動を行う若者と連携した情報発信事業などの実施、小杉駅周辺の地域課題やコミュニティ形成に関する検討会議の開催(武蔵小杉エリアプラットフォーム全体会への参加:5回、コストコミュニティ推進会議の開催:1回)、公共空間などを活用した移動型サービス設置実証実験の実施など、本地域のコミュニティの課題解決に向けた取組の実施、地域の居場所づくりや魅力づくりをテーマとしたプロジェクトの実施、公共空間の活用に関する取組を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	目標							
		実績							
	2	目標							
		実績							
3	目標								
	実績								
4	目標								
	実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	令和元年東日本台風の影響による地域のイメージダウンを経験したことにより、さらなる魅力づくりや地域の愛着づくりに向けた取組が重要性を増しています。また、新型コロナウイルス感染症の影響により、地域における滞在人口が増加し、地域における居場所づくりや居心地よく暮らしやすいまちなか空間の創出がより一層重要になっています。		
事業の見直し・改善内容	■ 実施 (直近) 令和 2 年度 □ 今後実施( 年度から)		
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	空間創出に関する事業について国庫補助を活用		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により地域の愛着形成に向けた取組は重要性を増しています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域で活躍するプレイヤーとの連携が進んでおり成果が上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	既に事務改善等を実施し、効率的効果的な事業を実施しています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 新型コロナウイルス感染症の影響をはじめ社会環境の変化は劇的かつスピーディであるため、今後も効率的効果的に事業が進められるよう事業の執行方法を柔軟に見直し改善しながら進めていきます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称				
款	項	目	大	中	小					
11	01	04	26	05	45	区民祭開催経費				
担当			所属コード			所属名			担当者	連絡先
			651600			まちづくり推進部総務課			稲葉	63112

事業の概要									
事業の概要		「心のふれあう ふるさと中原」をテーマに、地域団体等から成る実行委員会が中原区民祭を開催し、区民相互のふれあいの深まりを目指します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域コミュニティ活性化事業	
		昭和54年度		—					
地域の課題と現状		区では武蔵小杉を中心とした再開発が進み転入者が増加しており、以前からの地域住民と新しく中原区民となった住民の交流の場の創出や、それによる地域コミュニティの活性化が課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	246	246	246	246	246	0	236	0
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	246	246	246	246	246	0	236	0

計画 (Plan)	
事業の目的	区民祭を通して、区民同士がふれあい、交流することを目指します。
今年度の事業の取組内容	実行委員会・専門部会により企画検討し、中原区民祭を開催します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		令和3年11月14日(日)に等々力緑地にて第43回中原区民祭を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止となった。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	中原区民祭の開催(来場者)	目標	38,000	40,000	40,000	40,000	人
				実績	40,000	0	0	0	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区への転入増が続き区民同士のふれあいの場が求められています。また、会場となる等々力緑地において再編整備が進められており、会場のレイアウト等に変更が必要です。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 28 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		等々力緑地再編整備に伴い、会場を一部変更しながらも例年と同規模で開催しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内最大のイベントとして定着してきており、区民の転入増が続いていることからニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で中止となったため検証できません。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	会場設営等に係る仕様の見直し等により、経費削減に努めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
経費削減や事務手続きの見直しを進めながら、事業の目的や方向性を維持して継続していくことが適切であると考えられます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	05	中原区安全・安心まちづくり推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			650000		危機管理担当		星野	63355	

事業の概要									
事業の概要		区民、地域団体、行政機関などが連携し、安全マップづくり、防犯パトロール講座の実施、パトロール用品の貸与等により、自主防犯活動の活性化、地域の防犯力及び意識の向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業			
		—	—						
地域の課題と現状		日々の社会情勢が変化するとともに、特殊詐欺の手口も変化しており、地域の安全確保に向けて地域住民、関係団体、事業者、消防及び行政等が連携して啓発活動に取り組むなど、地域全体での活動を推進し、安全で安心なまちづくりを進めていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,000	1,000	1,000	1,000	1,176	842	1,516	1,411
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,000	1,000	1,000	1,000	1,176	842	1,516	1,411

計画 (Plan)	
事業の目的	地域で発生する各種犯罪(自転車盗、空き巣、ひったくり、放火等)に区民が巻き込まれることなく、安全で安心して暮らすことができるまちづくりの推進を図ります。
今年度の事業の取組内容	防犯キャンペーン、見守り活動、子どもを対象とした安全マップづくり、防犯パトロール実践講座等の実施

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>防犯キャンペーン、見守り活動の実施(12回)</li> <li>安全マップづくりの実施(4回)</li> <li>防犯パトロール実践講座(3回) ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響から実施回数が少なくなりましたため、代替として、防犯キャンペーン、見守り活動を強化</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	防犯パトロール実践講座	目標	6	6	6	6	回	
				実績	6	4	0	3		
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		犯罪認知件数は減少傾向ですが、不審者の子供に対する声掛けやわいせつ事案がまだ発生しており、また、特殊詐欺の手口も年々変化するため、継続的かつ柔軟な対策が必要と考えられます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		中原区職員における、青色防犯パトロールの実施強化を行いました(実施可能職員:50人増。実施可能車両:2台→15台)	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	R3年度の市民アンケートの中でも、力を入れてほしい施策の上位に入っており、依然ニーズは高いものと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、防犯パトロール実践講座の実施回数は目標に達しませんでした。併せて、防犯キャンペーンや安全マップの実施回数を増強したため、一定の効果は保持できたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	委託団体等と協議を行い、役割分担の見直し等による改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	Ⅱ 社会状況の変化により、特殊詐欺などの新たな種類の犯罪に対応することも必要であり、事業の目的や方向性は維持するものの、見直し・改善の上、継続することが適切であると考えられます。



# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	10	中原区ガイドマップ(安心マップ)作成事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		幸田	63362	

事業の概要										
事業の概要		「中原区ガイドマップ」(安心マップ)を作成して転入者を中心に地域住民に配布することにより、避難所、給水拠点、帰宅困難者一時滞在施設などの災害時に必要な情報や区の基本情報を速やかに適切に把握してもらい、安全・安心のまちづくりの推進を図るとともに、生活に有用な様々な情報を掲載して区民生活の利便性の向上を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業				
		—	—							
地域の課題と現状		災害時の安全・安心については多くの区民が関心を抱いており、地域の安全確保に向け避難所などの防災情報や公共施設などの基本情報を広く周知する必要がある。また高齢化社会の到来など社会状況が多様化していく中、インターネット環境がない場合でも速やかに確認できる配布物の作成は現在も必要性が高い状況です。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
財源内訳	事業費	910	778	910	814	910	737	910	748	
	国庫支出金									
	市債									
	その他特財					280	279	279	287	
	一般財源	910	778	910	814	630	458	631	461	

計画 (Plan)	
事業の目的	転入者や地域住民に広く「中原区ガイドマップ」を配布することにより、最新の行政情報や防災情報などを把握してもらい、安全・安心のまちづくりの推進を図るとともに、区民生活の利便性の向上を目指します。
今年度の事業の取組内容	最新の情報を掲載したガイドマップを作成し、区役所区民課窓口で転入者に配布したり、区内公共施設に配架して広く住民に配布します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		区ガイドマップの作成								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	区ガイドマップの作成	目標	25,000	25,000	25,000	25,000	部	
				実績	25000	25000	25000	25000		
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		災害時の安全・安心には多くの区民が関心を抱いており、高齢化社会の到来など社会状況が多様化していく中、地域の安全確保に向け、防災情報や公共施設の基本情報を周知していくことは喫緊の課題であり、また、コロナ禍で地元生活圏内への関心が高まるなど、今後も継続した取組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内への転入者は毎年一定数以上いるとともに、公共施設や行政窓口からのニーズも高いため、必要性は高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	最新の防災情報や行政情報を広く周知することで、安全・安心のまちづくりの推進や区民の利便性が図られたと考えます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市民に有用で利便性の高い媒体物を一定部数作成するためには、現状での予算規模を確保した上で、業者選定等事務手続きの手法を随時見直していく必要があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 防災拠点の周知や公共施設情報の案内は、近年の台風被害やコロナ禍などの状況を踏まえ、喫緊の課題である安全・安心のまちづくりの推進及び区民の利便性の向上を図るための大変重要な取組みであるため、現状の事業内容を維持していくことが必要であると考えられます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	15	案内サイン情報更新事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		小倉	63123	

事業の概要									
事業の概要		小杉駅周辺再開発等の進捗に合わせた案内サインの地図面等の情報更新を実施するとともに、外国人訪問者の増加に対応するためサインの多言語化等の検討を進め、区民や来街者の利便性向上を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺の再開発事業や等々力緑地再編整備事業等により案内サインが増設され、既存のものとあわせて、54箇所76基45面の案内サインが設置されていますが、事業の進捗等により、地図面・案内表示文字が現状にそぐわないものになっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	944	932	944	935	1,001	176	1,000	946
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	944	932	944	935	1,001	176	1,000	946

計画 (Plan)	
事業の目的	最新の地図面等に更新することにより、来街者の利便性を向上させます。
今年度の事業の取組内容	小杉駅周辺再開発等の進捗等に合わせた案内サインの地図面や案内表示文字の情報更新

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・事業の進展の把握とともに案内サインの現地確認を行い、委託作業をし情報更新を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	目標							
		実績							
	2	目標							
		実績							
	3	目標							
		実績							
	4	目標							
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		案内サイン地図面の情報更新については、小杉駅周辺再開発等の進捗に合わせて取り組むため、現状の事業内容を維持することが適切と考えています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	小杉駅周辺の開発事業の進展に伴い、来街者は増えており、来街者の円滑な誘導のため、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	図面や案内表示文字を現地確認し、予算の範囲内で順次情報更新しており、成果は上がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	現地確認することで、部分的な修正に留めるなど、情報更新内容を絞り込むことで、経費削減を図っていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 次年度以降も再開発等の進捗があるため、整合を図ることが必要な状況であることから、当初の検討どおり、次年度は事業内容を継続することが適切であると考えられます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	25	中原区放置自転車対策事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			656100		中原区役所道路公園センター管理課		田中	73541	

事業の概要										
事業の概要		自転車等の放置防止に関する条例(以下「自転車条例」という。)に基づき、歩行者や自動車等の安全な通行の妨げとなり、街の美観を損ねている放置自転車の撤去をすると共に、自転車利用者の駐輪マナー・モラルの向上を目指し、駅前や商店街で放置自転車防止の啓発活動の実施を行います。 放置禁止区域の周知及び駐輪場への誘導を行います。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業費				
		—	—							
地域の課題と現状		自転車条例の施行の経過及び平成29年度に中原区内全駅周辺において放置禁止区域に指定したことにより、区民への周知が浸透し、ある一定の放置自転車数は減少したが、一部特定駅周辺地区においては、依然放置自転車が見受けられます。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		事業費	225	62	225	197	225	195	216	200
		財源内訳								
		国庫支出金								
		市債								
		その他特財								
		一般財源	225	62	225	197	225	195	216	200

計画 (Plan)	
事業の目的	道路における自転車等の放置による危険又は障害を除去することにより、歩行者等の通行の安全及び災害時における緊急活動場確保を図り、併せて市民自らが自転車等の適正な駐輪秩序の確立に努めるとともに、安全で住みよい生活環境を維持し、向上させることを目的とします。
今年度の事業の取組内容	放置自転車の撤去を行うとともに、駅前や商店街での放置自転車防止の啓発活動を実施します。 放置禁止区域の周知及び駐輪場への誘導をします。 放置自転車の多い場所について個別対応を行います。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		交通安全対策協議会との協働実施による放置自転車防止の運動や、各種イベントでのポスター掲示等の啓発活動を行い、幅広く自転車利用者へマナー向上の啓発活動を行いました。 一部放置自転車が解消していない場所について、道路に隣接する地権者と協働して放置対策を行うなど放置自転車数を減少させることが出来ました。また、可能な限り複数回撤去を行う、撤去日時の変更を行うなど放置対策を行いました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1				目標				
	2				実績				
	3				目標				
					実績				
					目標				
					実績				

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		自転車条例の施行後、これまでの継続した各地区での活動や、中原区内全駅周辺が放置禁止区域に指定したことに伴い、区民への周知が浸透し、ある一定程度の放置自転車数は減少しましたが、武蔵小杉駅周辺の再開発等に伴う転入者もあることから、日々の自転車撤去や駅周辺での啓発活動の継続が重要となっています。 また、民間シェアサイクル事業者の展開等自転車活用シーンの変化についても今後見据えていく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 30 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		従前放置自転車が多数あった、JR南武線武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺については、ほぼ放置がなくなったことから、自転車指導員を他の放置自転車が改善されない場所へ配置変更することに改善されました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	区内各駅周辺に自転車が放置される現状があり、また、放置時された自転車に関する情報提供も区民からあります。提供された情報への対応の必要性は高く、事業を継続することで、区民への周知、駐輪モラルの維持と向上が図られます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	放置自転車撤去台数は、緩やかな減少傾向にあります。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	効率的な放置自転車対策となるよう、手段・手法と時期を建設緑政局自転車利活用推進室と調整しながら検討してまいります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 放置自転車台数の減少が見られる地区もあるが、放置され、市に撤去される自転車が 多い地区も存在するので、今後はこれら放置が課題となっている地区での啓発活動につ いて検討してまいります。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	30	交通安全教室開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			650000		危機管理担当		星野	63355	

事業の概要									
事業の概要		区民を対象としたスケアード・ストリート方式(スタントマンによる交通事故の再現)を取り入れた交通安全教室を開催し、安全で確実な自転車の乗り方等のルール・マナーを習得させることにより、交通事故の防止を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		安全・安心まちづくり事業			
地域の課題と現状		中原区内における人身事故数は減少傾向ですが、人身事故件数に占める自転車事故件数の割合が高い状況が続いており、令和3年度も神奈川県自転車事故多発地域に指定されています。また、スケアード・ストリート方式の交通安全教室は、学校の校庭程度の広い屋外スペースが必要であることから、学校での実施が多くなっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1,523	1,368	1,386	483	1,309	726	1,232	770
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,523	1,368	1,386	483	1,309	726	1,232	770

計画 (Plan)	
事業の目的	区民を対象とした交通事故防止に効果的な交通安全教室を実施し、交通事故の加害者、被害者にならないよう交通安全教育・啓発を行い、交通事故の削減を図ります。
今年度の事業の取組内容	中学生及び高校生を対象とした教室の実施に加え、成人全般を対象とした教室については、小学校の授業参観日や学校イベント等を活用し実施します。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		スケアードストリート方式の交通安全教室を中学生3回、高校生1回、成人1回、合計5回実施を計画し、2回実施しました(新型コロナウイルス感染症の影響で予定した実施校での実施はできませんでしたが、中高小学校に定期的に呼び掛けを行い、小学校で2回実施しました。)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	スケアードストリート方式の交通安全教室	目標	5	5	5	5	回
				実績	4	3	3	2	
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		自転車によるフードデリバリーサービスが増加しており、それに伴い、自転車運転マナーの悪化、ルール違反などが社会問題とされており、自転車事故削減に向けた取組が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	自転車運転マナーの悪化、ルール違反などが社会問題とされており、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で、予定していた学校での実施ではありませんでしたが、交通安全行動の未熟な小学生に対して、実施できたことにより一定の効果は得られたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	実施回数は現状を維持し、対象者に合わせた柔軟性のある内容にしつつ、会場側の協力を得るなどして地域住民の参加の機会を増やし、広く区民の参加を促すよう改善を進めます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 実施場所や内容を見直すことにより、対象者を広げられる可能性があるため、目的や方向性は維持し、見直し・改善を図りながら、継続することが適切であると考えられます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	10	35	地域防災力強化事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			650000		危機管理担当		高橋	63354	

## 事業の概要

<b>事業の概要</b>		熊本地震や令和元年東日本台風、今後想定される首都直下地震やコロナ禍などを踏まえ、区民一人ひとりの防災意識の向上や、近隣住民が助け合う関係の構築、各種関係団体・機関、民間企業、学校などの連携協力体制づくり、これらを支える行政機関の活動など、自助、共助や公助による地域の総合的な防災力の向上を図ります。							
<b>実施期間</b>		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		安全・安心まちづくり事業	
		—		—					
<b>地域の課題と現状</b>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・中原区は、密集住宅と大型高層住宅が混在するまちで、出生や子育て世代の転入による人口増加をはじめ、様々な面から地域防災力の強化が求められます。</li> <li>・区南西部に位置する井田地区には土砂災害警戒区域があるほか、多摩川と鶴見川に挟まれた地形的な特徴を持つことから、風水害に対する十分な備えが必要です。</li> <li>・武蔵小杉駅は、6路線が交わるターミナル駅であり、震災等が発生し鉄道の運行が停止した際は、駅周辺に約6,000人の滞留者が出ることが想定されていることから、エリア防災計画に基づく帰宅困難者対策の取組を進めています。</li> </ul>							
<b>予決算</b> (単位:千円)	<b>年度</b>	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	<b>事業費</b>	5,909	5,769	1,958	1,460	2,744	2,350	279	203
	<b>財源内訳</b>								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	5,909	5,769	1,958	1,460	2,744	2,350	279	203

## 計画 (Plan)

<b>事業の目的</b>	近年の異常気象による風水害や首都直下地震等に備えるため、自助、共助や公助による地域の総合的な防災力向上を図ります。
<b>今年度の事業の取組内容</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自主防災組織、避難所運営会議の促進など地域防災力の向上</li> <li>・中原区防災連携協議会による各分野の課題解決に向けた検討</li> <li>・武蔵小杉駅周辺地域エリア防災計画に基づく帰宅困難者対策</li> </ul>

## 実施結果 (Do)

<b>上記取組内容に対する達成度</b>	<b>3</b>	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った																																																							
<b>取組内容の実績等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難所運営会議を6避難所で計7回開催</li> <li>・中原区防災連携協議会の部会、全体会を開催、新たに4団体が加入</li> <li>・中原区総合防災訓練を、避難所の開設・運営、マイタイムラインの作成、災害時におけるアウトドア用品の活用などについて、動画をオンライン配信する方法で実施</li> <li>・武蔵小杉駅周辺地域帰宅困難者対策として情報の受伝訓練に加え、一時滞在施設の開設訓練を実施</li> </ul>																																																								
<b>数値で把握することが可能な取組</b>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標分類</th> <th>指標</th> <th>H30年度</th> <th>R01年度</th> <th>R02年度</th> <th>R03年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">1 活動指標</td> <td rowspan="2">避難所運営会議の開催</td> <td>目標</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>42</td> <td>61</td> <td>14</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2 活動指標</td> <td rowspan="2">区防災連携協議会の構成団体</td> <td>目標</td> <td>107</td> <td>108</td> <td>116</td> <td>120</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>108</td> <td>116</td> <td>120</td> <td>124</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">3</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">4</td> <td rowspan="2"></td> <td>目標</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	1 活動指標	避難所運営会議の開催	目標	28	29	29	29	実績	42	61	14	7	2 活動指標	区防災連携協議会の構成団体	目標	107	108	116	120	実績	108	116	120	124	3		目標					実績					4		目標					実績					
指標分類	指標	H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位																																																			
1 活動指標	避難所運営会議の開催	目標	28	29	29	29																																																			
		実績	42	61	14	7																																																			
2 活動指標	区防災連携協議会の構成団体	目標	107	108	116	120																																																			
		実績	108	116	120	124																																																			
3		目標																																																							
		実績																																																							
4		目標																																																							
		実績																																																							

## 評価 (Check)

<b>事業を取り巻く社会環境の変化</b>	大規模震災や風水害、及び異常気象などが引き起こす新たな危機事象にも対応できるよう、地域の防災力を更に高めていく必要があります。また、新型コロナウイルス感染症のまん延により、自主防災組織や避難所運営会議等において、十分な訓練等が行えなかった事情を踏まえ、実地訓練の不足を補う内容を加えながら、地域の自主的な活動を育む必要があります。		
<b>事業の見直し・改善内容</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>	R3年度: 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実地訓練の開催が難しい中、オンラインで配信した中原区総合防災訓練の様子をDVDにまとめたほか、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を踏まえた風水害時緊急避難場所の開設・運営のポイント、ぼうさい出前講座及び土のうの作成方法などもDVDにまとめ、区防災連携協議会124団体及び区内109自主防災組織に対して配布し、情報共有を図りました。		
<b>評価項目</b>		<b>評価</b>	
<b>必要性</b>	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	<b>a</b>
	評価の理由	地震や台風・豪雨などの災害の影響により、防災への関心は高まりを見せています。	
<b>有効性</b>	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	<b>b</b>
	評価の理由	区防災連携協議会の団体数が増えた一方で、避難所運営会議の開催については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、開催を自粛する団体が多く、開催数は前年度を下回りました。	
<b>効率性</b>	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	<b>a</b>
	評価の理由	地域防災力の強化については、各活動主体が自主運営力を強化できるよう、区が主体的に働きかけ、自主的な活動を育む必要があります。そのためには現状の手法等を継続し、職員が地域とコミュニケーションをとりながら良好な関係を築き、地域防災活動への直接的な支援を行うことが効果的であると考えます。なお、地域防災活動への支援については、地域の様々なニーズに合わせて対応する必要があるため、効率性の判断に対し適正な規模を設定することは困難と考えます。	

## 改善 (Action)

<b>今後の事業の方向性</b>	<b>方向性区分</b>	<b>方向性</b>	<b>実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性</b>
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	<b>II</b>	今後においても、様々な危機事象に対して柔軟に対応できるよう、様々な視点を取り入れながら、これまでの事業を継続し、地域の防災力のさらなる強化を図ります。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
58	05	20	26	15	05	働く親世代の子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課			杉江	63817

事業の概要									
事業の概要		中原区に住む子育て世代の親(シニア世代)を対象に、自身の孫や地域の孫育てへの関心を深め、現代の育児の手法や自身の育児親との違いを認めながらさりげなく子育て世代のサポートができるように支援する。現代の子育て事情を学ぶためのパンフレットを購入・配布し、働く親世代への子育て支援の充実をすすめます。							
実施期間		事業開始年度 平成30年度		事業終了年度 令和3年度		予算中事業		総合的な子ども支援事業	
地域の課題と現状		中原区の高学年級の調査では、就労妊婦は7割超、転入して5年未満の夫婦が8割前後という傾向がみられます。地縁が少なく、親族からのサポートが得にくい中、妊娠中あるいは産後間もなくから育児不安が高い母親が多く、支援を必要としています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	332	280	194	139	168	88	396	352
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	332	280	194	139	168	88	396	352

計画 (Plan)	
事業の目的	シニア世代を含めた子育て支援体制の構築を進め、地域で安心して子育てが行えるようにします。
今年度の事業の取組内容	働く親世代への子育て支援の充実のため、現代の子育て事情を学ぶためのパンフレットを購入し、地域に住むシニア世代や、妊産婦を通じて孫の祖父母へもパンフレットを配布し、広く普及啓発を行います。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		働く親世代への子育て支援の充実のため、現代の子育て事情を学ぶためのパンフレットを購入し、地域に住むシニア世代や、妊産婦を通じて孫の祖父母へもパンフレットを配布し、広く普及啓発を行いました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	成果指標	孫育て講座の参加者	目標	30	30	30	0	人	
				実績	29	30	0	0		
	2	成果指標	子育て支援のパンフレットの配布	目標			-	1800	部	
				実績			400	1800		
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		孫育てへの関心は社会的に高まっており、区役所以外での講座開催が増えています。産後ケアや産前・産後家庭支援ヘルパー等の民間事業所も増えており、働く親を取り巻く社会的支援も充実してきています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	働く親を取り巻く社会的支援は充実してきています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	パンフレットの配布により、一定の効果があつたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	働く親を取り巻く社会的支援は充実してきているため、行政としての役割は一定程度終了したものと考えます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	III	孫育てへの関心は社会的に高まっており、区役所以外での講座開催が増えています。産後ケアや産前・産後家庭支援ヘルパー等の民間事業所も増えており、働く親を取り巻く社会的支援も充実してきています。行政としての役割は一定程度終了したものと考えます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	20	中原区総合子どもネットワーク事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		藤原	63805	

事業の概要									
事業の概要		中原区における総合的な子育て支援を推進するため、子ども、子育て支援関係者によるネットワーク組織を形成し、情報交換及び連携を通じて様々な子ども・子育て支援活動を展開するとともに、行政と区民が協働で環境の変化に応じた新たな子ども・子育て支援策の実施に向けた取組を行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		武蔵小杉駅周辺の再開発等による子育て世代の増加などにより、地域包括ケアシステムの考え方にに基づき、地域で子ども・子育て支援が必要となっています。そのため、子ども・子育て支援に関する区民や関係団体・機関の意識の向上、人材のスキルアップ、地域全体の子ども支援や子育て力の向上が必要となっています。さらに、こども文化センターの施設を活用し、就学後の児童が地域の人々や世代間の交流を経験するとともに、安心して過ごすことができる居場所づくりが必要となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3,410	2,905	3,183	2,685	3,063	2,598	2,932	2,676
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	3,410	2,905	3,183	2,685	3,063	2,598	2,932	2,676

計画 (Plan)	
事業の目的	年間を通じて開催するネットワーク会議において、子どもに関わる課題を共通認識し、情報の共有化と相互協力を図る。
今年度の事業の取組内容	子育てネットワーク会議の開催。なかはら子ネット通信の隔月発行。子育てグループリーダー交流会の実施。なかはら子ども未来フェスタの開催。子育て支援ボランティア交流、研修等を開催。なかはらママカフェの開催、「ミミケロはっぴいダンス！」の普及啓発等。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		総合子どもネットワーク会議を1回実施(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため2回中止)。中原区子育てガイドブックは年1回、なかはら子ネット通信は6回発行。11月に民間商業施設と連携し、新しい生活様式に沿った形で作品展示や動画をメインとし、なかはら子ども未来フェスタを開催。その他、子育てグループリーダー支援の交流会、子育て支援ボランティアに係る交流・研修、ミミケロおしゃべり広場等を実施。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	総合子どもネットワーク会議の開催	目標	3	3	3	3	回	
				実績	3	2	1	1		
	2	活動指標	なかはら子ネット通信の発行	目標	6	6	6	6	回	
				実績	6	6	6	6		
3	活動指標	なかはら子ども未来フェスタの開催	目標	1	1	1	1	回		
			実績	1	1	1	1			
4	活動指標	こども文化センターモデル事業(ゴーゴーキッズ)の実施	目標	12	0	0	0	回		
			実績	12	0	0	0			

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成28年度から子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムが本格的に始まり、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) <input type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		総合子どもネットワーク会議子ども支援部会における活動の見直しにより令和元年度からこども文化センターモデル事業(ゴーゴーキッズ)を中止しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため子ども・子育て支援は重要な取組となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	総合子どもネットワーク会議において情報交換がされ、地域の子ども・子育て支援に繋がっている。また、なかはら子ネット通信の発行や、なかはら子ども未来フェスタなど順調に事業を実施しています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	平成28年度に中原区子育てネットワーク事業と中原区子ども支援ネットワーク事業を統合し、中原区総合子どもネットワーク事業として5年目となります。今後も会議での話し合いにより改善を図りながら継続します。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	平成28年度に中原区子育てネットワーク事業と中原区子ども支援ネットワーク事業を統合し、中原区総合子どもネットワーク事業として5年目となる(予算の統合は29年度から)。今後も会議での話し合いにより改善を図りながら継続します。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	30	中原区子育て支援推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			藤原	63805

事業の概要										
事業の概要		転出入が多く、核家族化等で地域の中でのつながりが希薄になっている中原区では、孤立して子育てに不安を抱える保護者が増えている。社会福祉協議会と連携し、民生委員・児童委員を中心に地域で開催している親子の集いの場「子育てサロン」を支援することにより、区内で子育てをする親子の仲間づくりや居場所づくり等の促進を図り、子育てのしやすい地域コミュニティづくりを推進します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業				
		—	—							
地域の課題と現状		転出入が多く、核家族化等で地域の中でのつながりが希薄になっている中原区では、孤立して子育てに不安を抱える保護者が増えているため、区内で子育てをする親子の仲間づくりや居場所づくり等の促進を図り、子育てのしやすい地域コミュニティづくりが必要となっています。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	事業費	3,054	2,755	2,978	2,690	2,483	1,531	2,384	1,062	
	財源内訳	国庫支出金								
		市債								
その他特財 一般財源		3,054	2,755	2,978	2,690	2,483	1,531	2,384	1,062	

計画 (Plan)	
事業の目的	事業委託や実行委員会の開催、研修等を通じ、地域で開催している親子の集いの場「子育てサロン」を支援することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	中原区子育て支援推進実行委員会へ委託し、区内7地区15か所の子育てサロンへの運営支援。中原区子育て支援推進実行委員会を通じ、ボランティアが区内で開催している「子育てふれあい広場」への支援。子育てサロンの従事者向け研修の実施。中原区子育て支援推進実行委員会全体会を年2回(6月・3月)、運営部会を年4回開催。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		区内15か所の子育てサロン及び子育てふれあい広場の運営支援。新型コロナウイルス感染症の影響で中止が相次いだり、再開に向けた話し合いや予行演習を進め、一部オンライン等の新しい生活様式にて開催。子育てサロンの従事者向け研修の実施(3月)。中原区子育て支援推進実行委員会全体会を年2回(7月、3月)実施。運営部会を年4回実施。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子育てサロン開催回数	目標	183	172	148	102	回
				実績	175	145	7	51	
	2			目標					
				実績					
3			目標						
			実績						
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成28年度から子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムが本格的に始まり、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世代の増加している中原区において、地域のボランティアが運営する子育てサロンは引き続き重要な場となっており、その支援も必要なものとなっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響で子育てサロンは大半が中止となったものの、実行委員同士の話し合いや予行演習を実施し、一部の地区ではオンライン等の新しい生活様式に沿った形で開催しました。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	子育てサロンを地域で運営するに当たっては、オンラインでの開催など、従来のやり方にとらわれない手法等も検討していく必要があると考えられます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 子育て世代の増加している中原区において、仲間作りや居場所作りへと繋ぐことができ、また親子の引きこもりや虐待への予防にもつながると共に地域包括ケアシステムを推進していく上で、互助の手本となるような取組みとなっているため、対面だけに限らず、オンラインを取り入れるなど手法を工夫しながら継続していきます。		



# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	35	中原区子育て情報発信事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			藤原	63805

事業の概要									
事業の概要		子育て中の世帯に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供するため、ホームページや、「子育て情報ガイドブック」や「地域子育て支援センター等紹介リーフレット」等を作成します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		中原区は出生数、子育て中の世帯の転出入が共に多くなっており、地域に馴染みがなく孤立する恐れがある子育て中の世帯に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供し、中原区での子育てを円滑かつ充実したものにする必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,750	1,597	1,750	1,679	1,954	1,637	1,871	1,647
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,750	1,597	1,750	1,679	1,954	1,637	1,871	1,647

計画 (Plan)	
事業の目的	ガイドブックやリーフレットを作成することで子育て中の方に向けて多種多様な子育て関連情報を効果的に提供する
今年度の事業の取組内容	中原区子育て情報ガイドブックの作成、子育て情報等紹介リーフレットの作成、子育て施設マップの作成

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・中原区子育て情報ガイドブックの作成(9,000部) ・子育て情報等紹介リーフレットの作成(10,000部) ・子育て施設マップの作成(17,000部)							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	中原区子育て情報ガイドブックの作成	目標	9,000	9,000	9,000	9,000	冊
				実績	9,000	9,000	9,000	9,000	
	2	活動指標	子育て情報等紹介リーフレットの作成	目標	10,000	10,000	10,000	10,000	冊
				実績	10,000	10,000	10,000	10,000	
	3	活動指標	子育て施設マップの作成	目標	15,000	15,000	17,000	17,000	冊
実績				15,000	15,000	17,000	17,000		
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成28年度から子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムが本格的に始まり、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	引き続き、武蔵小杉駅周辺の再開発等による人口増、子育て世代の増加が見込まれているため子育て情報の提供は重要な取組となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	出生時や転入時に配布している子育て情報ガイドブックは区独自のキャラクター等載せるなどデザインに工夫を凝らし、利用者の方からは好評を得ており、有効に子育て情報を提供していると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ガイドブックやリーフレット、マップの掲載情報を精査し、類似の事項は省略する等、より効率的に作成できる可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
	引き続き、ガイドブックやリーフレット、マップの掲載情報を精査し、類似の事項は省略する等、より効率的に作成するよう検討します。	

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	40	中原区子どもの発達支援事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課		竹村	63813	

事業の概要									
事業の概要		発達に何らかの課題のある子どもをもつ保護者に対して、発達の理解を得るための情報提供を行い、子どもへの対応スキルの向上や、保護者同士の相互理解の推進を図ります。							
実施期間		事業開始年度 平成21年度		事業終了年度 —		予算中事業		総合的なこども支援事業	
地域の課題と現状		子どもの発達支援にかかわる関係機関は、保育園、幼稚園、小学校、中学校といった児童の所属機関から、地域みまもり支援センターや地域療育センター、児童相談所といった専門機関まで幅広く、発達に課題のある児の把握と支援及び保護者の支援について様々な課題を抱えています。支援機関同士の情報共有やネットワークの構築が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	837	819	846	842	905	610	906	862
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	837	819	846	842	905	610	906	862

計画 (Plan)	
事業の目的	発達に課題を持つ児の保護者が、セミナー等の参加により子どもへの対応スキルを学ぶとともに、関係機関同士のネットワーク構築により、子どもの発達支援向上のための切れ目のない支援を提供します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就学前セミナー「子どもの発達支援セミナー」の開催(年9回)</li> <li>●委託事業者による就学後セミナー「保護者ミーティング」の開催(年7回)</li> <li>●発達支援ネットワーク会議の実施(年1回)</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成	4. 目標を下回った	2. 目標を上回って達成	5. 目標を大きく下回った	3. ほぼ目標どおり			
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●就学前セミナー「子どもの発達支援セミナー」の開催(年9回)</li> <li>●委託事業者による就学後セミナー「保護者ミーティング」の開催(年7回)</li> <li>●発達支援検討会の実施(年1回)</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
	1	活動指標	子どもの発達支援セミナーの実施	目標	9	9	9	9	回
				実績	9	9	5	9	
	2	活動指標	保護者ミーティングの実施	目標	7	7	7	7	回
				実績	7	7	5	7	
3	活動指標	発達支援検討会の実施	目標	2	1	1	1	回	
			実績	2	1	1	1		
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	「発達障害」が社会的にも広く認知されるようになりましたが、児童への支援のみならず、保護者支援の充実も求められています。		
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	発達に課題を抱える児童を把握する機会が増えており、相談ニーズは高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	セミナーなど参加した保護者のアンケートからも成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	すでに29年度からセミナーは検討会のメンバーによる実施とする等、経費が削減されているが、手法の見直し等による事務改善の可能性はある。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
		実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 いずれの事業も発達支援検討会の参加機関の委員や機関のスタッフの協力により、開催しました。今後も事業内容が充実していくよう、工夫や見直しを行いながら、継続していきます。また、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながらオンライン開催なども含め、状況に応じて適切に実施していきます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	45	中原区子育て支援者養成事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課		藤原	63805	

事業の概要									
事業の概要		区民の子育てへの理解を深めると共に、子育て支援に関心のある方を子育て支援者として養成し、なかはらママカフェや子育てサロン等、地域における子育て支援の活動の場につなげることで、地域での支援者層の拡大と、支援者の力量の向上を図ります。また当講座を通じて子育て支援の場を支える新たなボランティアを育成し、地域全体が子育てを応援していく体制づくりを推進していきます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業			
		—	—						
地域の課題と現状		中原区は、子育て中の親子の転入が多く、居住年数が短い中での出産が多いという中で、子育ての不安や地域からの孤立を解消し虐待等を予防するために、地域の子育て支援の力を高めていく必要があります。また、子育てサロンなど、ボランティアが中心となって運営されている子育て支援の場の多くは、ボランティアの人数不足が恒常的な課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	980	787	889	846	850	817	783	734
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	980	787	889	846	850	817	783	734

計画 (Plan)	
事業の目的	子育て支援に関心のある方を子育て支援者として養成し、なかはらママカフェや子育てサロン等、地域における子育て支援の活動の場につなげていきます。また新たなボランティアを育成し、地域全体が子育てを応援していく体制づくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	子育て支援者養成講座(区民30名対象 全5回講座 対面とオンラインの2コース)

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		子育て支援者養成講座(区民30名対象 全5回講座)を新型コロナウイルス感染症の対策の上、対面とオンラインの2コースで計10回実施							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子育て支援者養成講座の開催	目標	13	12	10	10	回
				実績	13	10	10	10	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成28年度から子ども、高齢者、障害者等すべての住民を対象とした地域包括ケアシステムが本格的に始まり、地域における子育て支援を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	子育て世代の増加している中原区において、子育て支援の場は引き続き重要な場となっており、そこで活動するボランティアの資質向上や育成は重要となっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	講座の内容、開催手法を工夫することで希望者が参加しやすくなっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	より効果的な講座となるよう手法や仕様等について改善の可能性があります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 子育てサロンやミケロおしゃべり広場など地域での子育て支援の場を支えるボランティアの育成は重要なため、手法等を見直ししながら引き続き実施します。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	15	65	中原区地域子育て支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課		相庭	63812	

事業の概要										
事業の概要		多胎児交流会を区民と協働開催し、地域における多胎児育児支援の基盤づくりに取り組みます。また、多胎児親子が交流できる場の定着化を図り、多胎児を育てる保護者の自助・互助力の強化を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		総合的な子ども支援事業				
		令和2年度	—							
地域の課題と現状		多胎児の育児は保護者の精神的・身体的・経済的負担が大きく、虐待発生リスクが高いため、支援の強化が求められています。また、令和2年から厚生労働省「母子保健医療対策総合支援事業要綱」の中で、多胎育児家庭に対する人的サポートが始まっています。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
		国庫支出金					421	159	231	108
		市債								
		その他特財 一般財源					421	159	231	108

計画 (Plan)	
事業の目的	多胎児世帯の孤立や不安を軽減し、安心して子育てができるように取り組みます。
今年度の事業の取組内容	区内での多胎児子育て交流会・多胎児を持つ親子の集い「ツインキッズ」開催、多胎児育児支援ボランティアグループ「ビーナッツ」の定例会の開催、ビーナッツ通信の発行

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った							
取組内容の実績等		●多胎児子育て交流会の開催(年2回実施予定であったが、直前キャンセルあり1回の実施) ●ツインキッズの開催(年3回(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため8回中止)) ※会の開催ができなかった期間には、個別(来所・電話・新生児訪問等)での相談を強化し、地区・業務担当で対応を実施。 ●ビーナッツ定例会の開催(年6回実施。内3回はコロナの感染状況もあり、人数制限し、半分の人数で実施) ●ビーナッツ通信を作成し、乳幼児の多胎児家庭と今年度参加者に通信とチラシの発行を行う。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
		1	活動指標	交流会、集いの開催数	目標			14	13	回
					実績			4	4	
		2			目標					
					実績					
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況があり、家庭内で過ごす時間が増えている中で、子育て世帯を地域で支えていく支援が引き続き求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の拡大により、外出が思うようにできないこと、相談件数が減少していないこともあり、引き続きニーズはあると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、実施回数は少なかったが、参加者の声・人数等から一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	コロナ禍において、安全・安心に実施できるように内容等を検討していく必要があります。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	コロナ禍において、今年度は、参加人数・ボランティアの数も減らし、交流会、集いを開催しました。参加者は、保護者同士の情報交換の場や子育ての先輩からの話しなどを聞けるよい場となっていました。会の開催ができなかった期間には、個別(来所・電話・新生児訪問、健診場面等)での相談を強化し、地区担当や業務担当で対応しました。今年度は、定例会も実施できたため、ビーナッツ通信の発送もボランティアと一緒にを行いました。今後は、新型コロナウイルス感染症の状況を踏まえながら、定例会及び交流会、集いの開催を適切に実施していきます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	05	中原区地域包括ケアシステム推進事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			藤原	63805

事業の概要									
事業の概要		川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンや中原区地域福祉計画に基づき、地域福祉の普及啓発及び活性化のためのワークショップの開催や地域のつながり、居場所づくりを目指した取組等により、支え合える地域づくりを行います。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域福祉活性化事業			
		—	—						
地域の課題と現状		支え合いの最小単位である家族の構成人数が減っている中、子育て世代も一人暮らしの高齢者も孤立せずに地域で過ごすことができるように、あらゆる世代の人と人が、橋のようにつながる必要があります。また川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき、第6期中原区地域福祉計画(令和3～5年度)に即して、地域福祉の情報発信や普及啓発を通して、地域とのつながりの推進を目指します。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,154	1,467	2,300	1,034	758	517	709	387
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	2,154	1,467	2,300	1,034	758	517	709	387

計画 (Plan)	
事業の目的	地域福祉の情報発信や普及啓発を通して、子ども、高齢者、障害者が安心して地域で暮らし続けられるよう取組を進めます。
今年度の事業の取組内容	地域福祉の普及啓発及び活性化のための話し合いの場や講座等の開催および、その後の具体的な活動への働きかけ等の伴走支援を通じた地域のつながり、居場所づくりを目指した取組

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		地域包括支援センターや企業等の協力のもと地域での話し合いの場を10回設定し、地域情報の共有や課題等について意見交換しました。区地域包括ケアシステム推進本部会議を年2回、地域のつながりづくりの体験会実施などにより、区における地域包括ケアシステムを推進しました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	地域での話し合いの場の開催	目標	7	8	9	10	回
				実績	12	8	9	10	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		平成28年度から地域包括ケアシステムが本格的に始まり、令和3年度から第6期区地域福祉計画の対象年度となりました。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	推進ビジョンでの土台づくり期からシステム構築期に入り、地域包括ケアシステムの推進は今後さらに重要となります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地域の方との対話を重ねることで意見等が集約され、地域の自助・互助の取組支援に繋がっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	第6期地域福祉計画、コミュニティ施策などの進捗に合わせ手法等も検討します。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続き川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンや第6期川崎市地域福祉計画に沿って、事業を推進します。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	10	なかはら福祉健康まつり実施事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			655000		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域ケア推進課			藤原	63805

事業の概要									
事業の概要		「であい、ふれあい、ささえあい」をテーマに、区内で福祉や健康に関わる活動をしている団体やボランティアなど約50団体が参加して、日頃の活動の発表や展示、体験型イベントを通し、区民に福祉や健康への理解を深めてもらうとともに、参加団体の交流の場として「なかはら福祉健康まつり」を実施します。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		地域福祉活性化事業	
		—		—					
地域の課題と現状		第6期地域福祉計画(令和3年～5年度が対象年度)や、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき、福祉や健康への理解・関心を深めるとともに、市民や団体同士の交流を通して、地域福祉や健康活動のネットワークづくりを推進する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	0	1,152	0
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	0	1,152	0

計画 (Plan)	
事業の目的	「なかはら福祉健康まつり」を開催することで、福祉や健康への理解・関心を深めるとともに、市民や団体同士の交流を通して、地域福祉や健康活動のネットワークづくりを推進することを目的とします。
今年度の事業の取組内容	11月に福祉健康団体等で構成される実行委員会による「なかはら福祉健康まつり」を開催します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の影響で開催中止								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	福祉健康まつりの開催	目標	1	1	1	1	回	
				実績	1	1	0	0		
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
				実績						
	4			目標						
実績										

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		第6期地域福祉計画(令和3年～5年度が対象年度)や、高齢者、障害者、子どもなどすべての方を対象とした川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づき事業を推進する必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域包括ケアシステムを推進するためにも、地域福祉への理解やネットワークづくりは必要と考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	令和3年度は開催中止により、成果は上がっていません。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	区民の実行委員会による運営のため、十分な配慮は必要となりますが、費用対効果を含めた改善余地はあると考えています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
地域の福祉と健康に関する啓発や地域活動や健康活動のネットワークづくりが更に効果的に行われるように開催内容を検討し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況等社会情勢を鑑みながら見直し・改善のうえ実施していきます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	20	25	中原区地域交流活性化事業			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			655130		地域みまもり支援センター(福祉事務所・保健所支所)地域支援課		海藤	63816	

事業の概要									
事業の概要		地域毎の交流の場やそれを支えるボランティア活動等を掲載したリーフレットを作成・配布して、誰もが安心して地域で暮らし続けることができるよう、高齢者の外出や社会的交流を目指します。							
実施期間		事業開始年度 令和2年度		事業終了年度 —		予算中事業		地域福祉活性化事業	
地域の課題と現状		支えあいの最小単位である家族の構成人数が減っている中、高齢者が元気なうちから地域での活躍の場やつながりをもつ必要があります。健康づくりや介護予防の視点の他、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンに基づく第6期中原区地域福祉計画(令和3年～令和5年度)に即した情報発信や普及啓発を通して、地域のつながりの推進を目指します。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費					423	365	297	289
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源					423	365	297	289

計画 (Plan)	
事業の目的	地域資源に関する情報発信により、高齢者の地域活動への参加やセルフケアの意識醸成を図ります。
今年度の事業の取組内容	地域の交流の場やそれを支えるボランティア活動等を掲載した「中原区シニアのためのおでかけマップ」を作成・配布する。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		「中原区シニアのためのおでかけマップ」の全区版を5,000部増刷しました。今までの地区版を刷新し、活動一覧を10,000部作成しました。また、配布先の数を増やしました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	リーフレットにおける地域で気軽に集まれる場の紹介件数	目標			96	101	件	
				実績			101	69		
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者の外出や交流の機会が減少しており、自助や地域住民間のつながり、みまもりの強化が求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響により高齢者の外出や交流の機会が減少しており、事業に対する必要性は高まっていると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	リーフレットの作成・配布により、新たに地域資源を紹介できており、一定の効果があつたと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、効果的な情報発信手法等の検討を行います。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 新型コロナウイルス感染症による高齢者の外出や交流の機会の減少、新しい生活様式を考慮し、効果的な情報発信に向けたリーフレットの掲載情報の検討を行いながら継続して事業を実施します。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	05	区民の手で花いっぱい中原事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		太田	63356	

事業の概要									
事業の概要		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることを目的に、区民との協働により、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理を行うとともに、区民に対して親子花植体験や講習会等を実施します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいきます。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,368	1,367	1,389	1,389	1,389	1,257	1,389	1,312
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,368	1,367	1,389	1,389	1,389	1,257	1,389	1,312

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理を行うとともに、区民に対して親子花植体験や講習会等を実施することで、地域の魅力や景観、環境意識の向上を図る。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●花クラブ実行委員会との協働による、区役所や武蔵小杉駅、武蔵中原駅周辺の公共花壇等への植栽及びその維持管理の実施</li> <li>●花クラブ実行委員会との協働による、花壇を活用した地域の魅力発信に資する活動</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・区内5箇所の公共花壇への植栽及び維持管理の実施 ・花壇を活用した子供向けのゲームの開催							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	花の植替え	目標	2	2	2	2	回
				実績	2	2	2	2	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		チラシや市政だより、活動紹介の広報冊子等を活用し、事業周知を図るとともに、新規委員の獲得を図っている。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	景観向上による区のイメージアップ効果は依然として高いと考えられる。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	区役所や駅周辺の公共花壇への植栽・維持管理を通じて、区の景観向上に着実に貢献している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	a
	評価の理由	花卉購入の費用が大半を占めており、これ以上削減できない。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		Ⅱ	ボランティアによる公共花壇の維持管理が図られているが、メンバーの高齢化等の課題もあることから、改善を行いながら、事業を継続することが適切であると考えられます。
		Ⅰ. 現状のまま継続 Ⅱ. 見直し・改善のうえ継続 Ⅲ. 事業終了	



# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	10	環境まちづくり支援事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651650		まちづくり推進部企画課		小倉	63123	

事業の概要									
事業の概要		行政・区民・市民活動団体・企業の協働により、身近な環境について学ぶイベントの実施や、区内の小学校で学ぶ「子ども環境授業」など、環境に関する地域の取組を進めます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		地球温暖化防止に向け、区民自らが身近に環境問題を考え、行動できるような取組が必要です。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,645	1,358	1,647	1,135	1,622	713	1,283	1,098
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,645	1,358	1,647	1,135	1,622	713	1,283	1,098

計画 (Plan)	
事業の目的	中原区としては、地球温暖化防止活動の普及・啓発を図りながら、区民との協働により様々な取組を実施し、より環境に配慮した市民生活を送るよう環境意識を醸成します。
今年度の事業の取組内容	企業や市民団体と連携してエコ暮らしフェアや子ども環境授業などを開催し、環境学習の場を提供 CCなかはらなど市民活動団体への活動支援

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・5月30日Jリーグ川崎フロンターレの試合前に行われたエコ暮らしフェアにて地球温暖化防止PRブースを出展</li> <li>・子ども環境授業を開催(矢上川で遊ぶ会×木月小学校[7、10月]、富士通×新城小学校[9月]、2校で延べ4回実施)</li> <li>・平間小学校、新城小学校、川崎フロンターレ、富士通レッドウェーブと連携し、クリアファイルやチラシ等SDGsに係る啓発品を制作</li> <li>・CCなかはらなど市民活動団体への活動支援を実施</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	子ども環境授業の開催回数	目標	4	4	4	4	回
				実績	5	7	6	4	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
				実績					
	4			目標					
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		環境に配慮した意識を醸成する取組については、引き続き継続的な取組が求められていますが、日々変化する社会環境に合わせ、効果的・効率的に普及・啓発を行うため、随時事業内容を見直す必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	
	評価の理由	持続可能な社会に向けて、地球温暖化防止は施策上のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	
	評価の理由	企業を通してプロフェッショナルから環境教育を受けられることで、知識の深堀につながっている。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	
	評価の理由	これまでの取組経過等も踏まえ、実施に向けた事務打合せを効率的に進め、改善を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
今年度も取組により普及・啓発が図られたが、引き続き環境配慮の取組は求められていることから、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況や社会環境等に対応した見直し等を実施しながら、事業内容を継続していきます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	15	中原スポーツまつり開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		平井	63360	

事業の概要									
事業の概要		ニュースポーツやバラスポーツなど「年齢を問わず」、「誰でも」、「簡単に」、「すぐできる」スポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる機会を提供する。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業			
		令和3年度	—						
地域の課題と現状		健康不安や生活習慣病の拡大など高齢化社会を背景に、競技スポーツだけでなく、高齢者でもできる生涯スポーツへと、スポーツのニーズが多様化している。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	698	698	698	78	698	0	944	944
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	698	698	698	78	698	0	944	944

計画 (Plan)	
事業の目的	① コロナ禍における子どもの健全な発育、中高年の生活習慣病等の予防や体力・生活機能の維持 ② 幅広い市民への運動機会提供による運動不足解消・健康づくり③ 多様な世代の交流機会創出と地域の繋がりがづくり
今年度の事業の取組内容	ニュースポーツ・バラスポーツのような「誰でも簡単にできるスポーツ」の体験ブースを出展します。

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		町会やスポーツ推進委員会を始めとした地域団体による実行委員会で内容を検討し、12種目の体験ブースを出展しました。感染症対策のため事前申込制としましたが、定員を大きく上回る985人の申込みをいただき区民の関心の高さを実感しました。午前・午後の2部制を取りましたが、当日の参加者からは楽しかった・もっと長く体験したかったとの声を多くいただきました。								
数値で把握することが可能な取組		指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位	
		1	成果指標	中原スポーツまつりの開催(参加者)		目標			500	人
				実績			350			
		2				目標				
				実績						
3				目標						
		実績								
4				目標						
		実績								

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		健康不安や生活習慣病の拡大など高齢化社会を背景に、競技スポーツだけでなく、高齢者でもできる生涯スポーツへと、スポーツのニーズが多様化しています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) 3 年度 □ 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		これまで長年にわたり主にドッジボール大会として実施してきましたが、スポーツのニーズが多様化している現状を踏まえ当該事業を令和2年度で終了し、令和3年度より、健康で活力に満ちた長寿社会の実現を目的として、年齢を問わず、誰でも、簡単にできるスポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる新規事業「中原スポーツまつり」へ移行しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	スポーツのニーズが多様化したことで、より幅広いニーズ(様々なスポーツが体験できるニーズ)が高まっています。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	親子連れを中心に多くの方に参加していただき、参加者アンケートの結果も好評をいただいています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	高齢者や障害を持った方も含めたより多くの層の方が参加しやすい内容となるよう、実施種目を始めとした事業内容を更に改善していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
引き続きスポーツのニーズの多様化に対応した内容で開催できるようニュースポーツやバラスポーツなど「年齢を問わず」、「誰でも」、「簡単に」、「すぐできる」スポーツを行うことで、市民が気軽に運動できる機会を提供していきます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	20	中原区体育及びスポーツ振興事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			平井	63360

事業の概要									
事業の概要		スポーツ大会主催者の申請に基づき、区民の健康増進、親睦の促進、スポーツの振興発展等に寄与すると認められるスポーツレクリエーション行事に対して区長杯を贈呈しています。 また、地元のチームであるスポーツパートナーへの愛着を育み、明るく元気なまちづくりの推進に結び付けることを目的に区役所庁舎へ懸垂幕の掲出等を実施しています。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		区内の人口が増加し、新たに区内に居住される方が多い現状の中、地域住民間のコミュニティ意識の希薄化が課題となっています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	246	173	246	155	246	53	246	105
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	246	173	246	155	246	53	246	105

計画 (Plan)	
事業の目的	スポーツの振興発展等に寄与すると認められるスポーツレクリエーション行事に対して区長杯の製作・贈呈を行うとともに、地元のチームであるスポーツパートナーへの愛着を育み、明るく元気なまちづくりの推進に結び付けることを目的に区役所庁舎へ懸垂幕の掲出等を実施します。
今年度の事業の取組内容	・申請のあった各種スポーツ大会に対する区長杯の贈呈 ・優勝したスポーツパートナーチームの懸垂幕を区役所庁舎に掲出

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の影響で各種大会が中止となる中、6大会において12個の区長杯を贈呈した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	贈呈した大会数	目標	/	/	13	13	大会
				実績	13	12	6	6	
	2	成果指標	贈呈した個数	目標	/	/	25	25	個
				実績	24	25	9	12	
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		新型コロナウイルス感染症の影響で、各種大会が中止となる状況となっている。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	b
	評価の理由	区長杯の申請団体は毎年固定化しており減傾向にある。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	懸垂幕の掲出はスポーツパートナーへの愛着を育む上で有効な事業でありつつも、スポーツ大会への区長杯贈呈については、それ以上に効果の得られる施策へ転換していく必要があると考えられる。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	限られた予算の中でより効果的な施策を実施できるよう、経費削減などを検討していきます。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	申請団体が固定化している現状や新型コロナウイルス感染症の影響で、申請数が減少している為、一部の競技大会を対象にした区長杯贈呈事業の有効性を検討した上で、より効果的な事業に予算を使用できないか検討を要する。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	25	中原区民多摩川ロードレース「マイペース大会」開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		平井	63360	

事業の概要									
事業の概要		健康増進スポーツとして多くの区民に親しまれているランニングを通じて、健康マラソンの普及と区民の健康増進を図るため、「マイペース大会」を開催します。記録を目的とせず、気軽に参加してもらうために、無理をせず、大会名どおりマイペースで完走してもらうことを趣旨とします。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		昭和48年度	—						
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を創出する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	460	460	460	58	460	0	224	0
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	460	460	460	58	460	0	224	0

計画 (Plan)	
事業の目的	健康増進スポーツとして親しまれている「走る」を通じ、区民の交流機会を創出し、健康増進・体力増強を図り、相互親睦を深めることにより、健康で明るく住み良いまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	小学4年生以上の男女を対象に、3km(小学生高学年男・女)、5km(中学生以上男・女)、10km(中学生以上男・女)の3種目でマラソン大会を開催。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染症の影響で中止となりました。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	成果指標	マイペース大会の開催(参加者)	目標			500	500	人
				実績	540	0	0	0	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		子育て世代を中心とした区内への転入が多く、新たな住民や親子が気軽に参加できるような体制づくりが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) <input checked="" type="checkbox"/> 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施(令和4年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		健康増進や交流創出を目的とした内容に見直しを図り、新たな住民や親子も参加しやすいイベントとして実施します。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	転入や子育て世代の多い本区において、新たな住民や親子がスポーツを親しめる機会を増やしていく必要があります。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	b
	評価の理由	令和元年度は東日本台風、令和2・3年度は新型コロナウイルスの影響により中止のため成果指標等を計測できていない。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	ここ数年、運営の人手不足という課題があるため、役割分担・人員配置の見直しを図っていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
コミュニティ意識の希薄化は依然として大きな課題であるため、目的や方向性は維持した上で事業を継続しつつも、歴史ある地域イベントとして根付いている反面、いかに新たな住民に参加してもらうかについて、検討していく必要があります。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	30	中原区青少年吹奏楽コンサート事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		高山	63352	

事業の概要									
事業の概要		区内の中学校及び高等学校を対象に中高生の運営参加による吹奏楽コンサートを開催します。							
実施期間		事業開始年度 平成2年度	事業終了年度 —	予算中事業	地域資源活用事業費				
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方でコミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組みを通じて世代や地域間の交流機会を提供し、地域を活性化していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,650	1,524	1,950	1,921	1,650	992	1,650	1,619
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,650	1,524	1,950	1,921	1,650	992	1,650	1,619

計画 (Plan)	
事業の目的	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進します。
今年度の事業の取組内容	区内中学校及び高等学校を対象とした吹奏楽コンサートを実施する。なお、新型コロナウイルス感染症の状況を確認しながら、開催の運営方法を見直して進めていく。

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、無観客にて開催とした。中原区内中学校(7校)、高等学校(5校)が参加し、出演生徒全323名が川崎市総合福祉センターにて演奏を行った。また、生徒保護者等が演奏を聴くことができるようにYouTubeによる生配信を実施した。							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 成果指標	中原区青少年吹奏楽コンサートの来場者数	目標	1,200	1,200	1,200	1,200	人	
			実績	1,200	1,200	0	323		
	2		目標						
			実績						
	3		目標						
実績									
4		目標							
		実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内の人口が増加し、新たに区内に居住される方が多い状況の中、地域と行政が協働により区内の音楽資源を有効に活用しながら継続して地域交流の促進に向けた取組が求められています。また、新型コロナウイルス感染症におけるwithコロナ時代の新しいスタイルを確立しながら進めていきます。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、無観客での開催とした。また、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを作成し、動線の一方通行化、控室の利用場所及び二酸化炭素濃度測定器等を設置するなど、運営方法の見直しを行った。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	例年会場は常に大勢の観客で満たされており、事業へのニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	音楽を通じた青少年の育成、地域間・世代間の交流を促進している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	新型コロナウイルス感染症対策について継続的に検討する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 本事業を継続していくためには、新型コロナウイルス感染症への対策が喫緊の課題であり、運営方法について随時見直しが必要である。
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	35	中原区役所コンサート開催事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		稲葉(洗)	63356	

事業の概要									
事業の概要		親しまれる区役所を目指すとともに、本事業を通して市の施策である「音楽のまち・かわさき」に掲げる、「市民が愛着と誇りが持てるまちづくり」を推進することを目的に、ランチタイムに中原区役所等を会場として、区民ボランティアとともにコンサートを実施し、区民にクラシックを中心に様々なジャンルの良質な音楽を気軽に楽しめる機会を提供します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,912	1,717	1,922	1,516	1,849	842	1,723	1,172
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,912	1,717	1,922	1,516	1,849	842	1,723	1,172

計画 (Plan)	
事業の目的	ランチタイムに中原区役所等を会場として、区民ボランティアとともにコンサートを実施し、区民にクラシックを中心に様々なジャンルの良質な音楽を気軽に楽しめる機会を提供することで、親しまれる区役所を目指すとともに、本事業を通して市の施策である「音楽のまち・かわさき」に掲げる、「市民が愛着と誇りを持てるまちづくり」を推進します。
今年度の事業の取組内容	●区内の公共施設でコンサートを実施

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		4		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		・区役所コンサートを有観客で2回実施しました ・通常の2倍の規模でスペシャルコンサートを企画。300名程度を募集して開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、無観客による動画配信に変更。1か月程の期間限定配信でしたが、700回以上の再生がありました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	コンサートの開催	目標	8	8	7	5	回	
				実績	8	7	2	3		
	2			目標						
				実績						
3			目標							
			実績							
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りをもち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) H29 年度 □ 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		委託業者の選定方法を見直し、指名競争入札を行った。また、来場者の多様化を目指し、多彩なジャンルの音楽を提供することとした。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	事業開始当初より現在まで、常に満員である。R2・3年度はコロナ禍であったが、開催に関する問い合わせが年中あり、事業に対するニーズは高い。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	「音楽のまちづくり」の推進、区役所のイメージアップに貢献している。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	契約の公平性や新たな事業者が参加しやすくするため、一般競争入札による契約を検討する。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う新たな生活様式に対応した開催方法の検討や来場者の多様化に向けた企画の工夫、開催したことのない会場での開催、地元音楽家の起用などを図りながら、継続して本事業を実施していくことが適切であると考えられます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	40	In Unity開催事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			稲葉(洗)	63356

<b>事業の概要</b>										
事業の概要		区民が地域への愛着や誇りを持てるまちづくりを推進することを目的として、区民との協働により、区内で活動するアマチュアミュージシャンやダンスグループに日頃の成果を発表する場を提供し、音楽を通じて幅広い地域・年齢層の人々の交流促進を図ります。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費					
		—	—							
地域の課題と現状		世代間・地域間の交流等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
	事業費	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	
	財源内訳	国庫支出金	2,336	2,334	1,909	1,909	1,909	1,253	1,909	1,906
		市債								
		その他特財								
一般財源		2,336	2,334	1,909	1,909	1,909	1,253	1,909	1,906	

<b>計画 (Plan)</b>	
事業の目的	区民との協働により、地域で活動するアマチュアミュージシャンやダンスグループに日頃の成果を発表する場を提供し、音楽を通じて幅広い地域・年齢層の人々の交流を促進することで、区民が地域への愛着や誇りを持てるまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アマチュアミュージシャンやダンスグループなどによる音楽ライブ「In Unity」の開催</li> <li>●中原区内各所で、PRイベントの実施</li> </ul>

<b>実施結果 (Do)</b>										
上記取組内容に対する達成度	<p style="text-align: center; font-size: 24px; font-weight: bold;">3</p> <p>1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った</p>									
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・音楽ライブ「In Unity」はまん延防止重点措置の適用に伴い、無観客オンライン配信により開催。配信は延べ1400人以上が視聴した。</li> <li>・関連イベントとして「カワサキ学生バンドオーディション」を開催。「In Unity」本番ステージへの参加に加え、3月にタワーレコードグランツリー武蔵小杉店でCDを発売。メディアにも多数取り上げられ、若者等新たな層へイベントの周知をすることができた。</li> <li>・PRイベントはこども食堂のイベントに参加し、地元企業や団体等と協力関係を構築することができた。</li> </ul>									
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	中原区音楽ライブ「In Unity」の開催				1	1	1	1	回
					1	1	0	1		
	2									
	3									

<b>評価 (Check)</b>	
事業を取り巻く社会環境の変化	街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気あふれ、人と人とがつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施 (年度から)
具体的見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	

評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	出演希望者が多数あり、事業ニーズは依然として高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	コロナ禍で活動の機会を失っているアーティストに貴重な発表の場を提供できたことに加え、オンラインを活用した新しい形での交流が生まれ、「音楽のまちづくり」の推進に一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	市民活動団体としての自立や財政面における自立等を促していく必要がある。	

<b>改善 (Action)</b>			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	既に20年間行政として財政的・人的支援してきており、今後も支援を継続するのであれば、事業の実施方法の見直しが必要であり、自力での見直しが難しい場合には、事業終了も視野に入れる必要がある。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	50	歴史と緑を活用したまちの魅力発信事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651700		まちづくり推進部地域振興課			太田	63356

事業の概要									
事業の概要		区民自らの手によりまちの魅力を発信していくため、地域の歴史や人材等を活用し、まち歩きや講座を通じて区民に中原区の魅力を発信するとともに、中原区の魅力を紹介できる人材を育成します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域資源活用事業費				
		—	—						
地域の課題と現状		地域の魅力や景観、環境意識の向上等を図ることで、郷土意識の醸成を図り、愛着と誇りを持てる地域となるよう取り組んでいく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	1,129	1,050	1,055	343	1,144	446	567	498
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	1,129	1,050	1,055	343	1,144	446	567	498

計画 (Plan)	
事業の目的	地域の歴史や人材等を活用し、まち歩きや講座を通じて区民に中原区の魅力を発信するとともに、中原区の魅力を紹介できる人材を育成することにより、区民自らの手によりまちの魅力を発信していきます。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●地域の歴史や文化を活用したまち歩きや講座を開催</li> <li>●歴史と緑の散策マップを修正・増刷</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		・8月～3月に全7回の魅力発信講座を開催 ・歴史と緑の散策マップを現状に合わせて修正・増刷							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	活動指標	講座の開催	目標	1	1	1	1	回
				実績	1	1	1	1	
	2			目標					
				実績					
	3			目標					
実績									
4			目標						
			実績						

評価 (Check)				
事業を取り巻く社会環境の変化		街なみが大きく変わっていく中、さまざまな世代が交流することでまちに活気があふれ、人と人がつながりを大切にしながら、区民が地域に愛着と誇りを持ち、これからも住み続けたいと実感できるまちづくりを進めるためには、継続した取組みが求められています。		
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) R3 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		連続講座の募集を前期・後期で2分割したり、休日開催の単発特別講座を設けることで、より多様な層の区民が気軽に参加できる企画の工夫を行った。		
評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている		a
	評価の理由	区の魅力発信によるイメージアップ効果は依然として高い。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない		a
	評価の理由	区のイメージアップに着実に貢献している。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある		a
	評価の理由	事業費の大半が散策マップ印刷料であり、見直しは難しい。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
		Ⅱ	区内人口の増加に伴い、地域交流の機会として、区民との協働により、区内の文化資源を有効に活用しながら継続して本事業を実施していくことが適切であると考えられます。



# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	25	55	スポーツを通じた地域活性化推進事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651700		まちづくり推進部地域振興課		高見	63360	

事業の概要									
事業の概要		区内を活動拠点とするスポーツパートナーや体育施設などのスポーツ資源を活用し、サッカー教室やバレーボール教室などの開催に取り組み、地域の活性化を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域資源活用事業費			
		平成23年度	—						
地域の課題と現状		小杉地区を中心に都市整備が進展する一方で、コミュニティ意識の希薄化が課題となっており、様々な取組を通じて世代や地域間の交流機会を創出する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	3020	1665	3,017	2,675	3,115	1,385	3,354	3,341
	財源内訳								
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財								
	一般財源	3020	1665	3,017	2,675	3,115	1,385	3,354	3,341

計画 (Plan)	
事業の目的	川崎市スポーツ推進計画の基本方針の一つである「スポーツを通して川崎の魅力・活力を楽しめるまち」に沿って、区内を拠点にして活躍している「かわさきスポーツパートナー」と連携したイベントを開催することで、地域間・世代間の交流機会の創出による、地域の活性化と元氣と潤いのあるまちづくりを推進します。
今年度の事業の取組内容	・富士通レッドウェーブ、NECレッドロケッツ、川崎フロンターレと各種スポーツ教室の開催 ・アメリカンフットボールの普及啓発及び、フラッグフットボール大会の開催

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等		・川崎フロンターレサッカー教室(198名)とフラッグフットボール大会・アメフト普及事業(大会100名・体験50名)を感染症対策を徹底した上で、それぞれ1回開催しました。・NECレッドロケッツバレーボール教室(zoom参加30名)及び富士通レッドウェーブバスケット教室(zoom参加57名、アーカイブ配信再生数35,368回)は感染症対策のため、2020オリンピック日本代表を含む選手とのオンライントーキイベントに切り替えて実施しました。								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標		H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位		
	1	活動指標	スポーツ教室等の開催	目標			5	5	回	
				実績	5	3	2	5		
	2			目標						
				実績						
	3			目標						
実績										
4			目標							
			実績							

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		若い世代を中心に新たに区内に居住される方が多い状況の中、区内に拠点を置くスポーツパートナーと連携し、引き続き地域でスポーツに親しむ機会を増やしていく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		■ 実施 (直近) R 元 年度 □ 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載		事業が定着しつつあり、スポーツパートナーとの連携も強化されています。過去の参加者や関係者の意見を踏まえ、初心者・経験者コースを設けて実施する等、事業の魅力を高め、より高い効果を生み出すよう工夫しました。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域住民の交流機会の創出及び地域の活性化のためにも事業の必要性は高いと考えます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	地元のスポーツチームへの愛着と地域の活性化に一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	仕様の見直しや、他の事業との連携等を検討していきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性 川崎市を拠点とするスポーツパートナーの活躍が著しく、貴重な地域資源であるため、今後も継続して活用していくべきであると考えています。その中で、地域交流の促進や地域の賑わい、魅力の促進につながるよう、より効果的な手法を検討していく必要があります。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	05	中原区市民提案型事業費			
担当			所属コード	所属名		担当者	連絡先		
			651650	まちづくり推進部企画課		深谷	63121		

事業の概要									
事業の概要		区民との協働により、地域課題の解決を図ることを目的としています。公募により、区民から地域の課題解決の事業提案を受け、審査・選定を行い、川崎市が進める協働型事業のルールに基づき、選定された事業を区民との協働で実施します。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	地域課題対応その他事業				
		—	—						
地域の課題と現状		地域課題の更なる複雑化による地域の担い手不足が見込まれる中では、持続可能な地域づくりに向けて、さまざまな主体と協働・連携する必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	2,602	1,970	2,602	1,588	2,625	1,069	2,583	2,074
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	2,602	1,970	2,602	1,588	2,625	1,069	2,583	2,074

計画 (Plan)	
事業の目的	区民との協働により、地域課題の解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業提案及び実施団体の募集</li> <li>川崎市中原区市民提案型協働事業審査委員会による選考の実施</li> <li>前年度実施事業の結果報告会の開催</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	3	1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり	4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等	R3年度は事業チャレンジコース、スタートアップコースで次の計13事業を実施 ・事業チャレンジコースでは、みどりなおさんぽ～なかはら子ども自然観察会～、コスギンLab.等計5事業を実施 ・スタートアップコースでは、えむえむの会、そらまめ、新生児業界in中原区等の団体が計8事業を実施								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1				目標				
					実績				
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
					実績				
	4				目標				
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化	地域課題の更なる複雑化による地域の担い手不足が見込まれます。		
事業の見直し・改善内容	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近) 令和 2 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)		
具体的な見直し・改善内容 <small>※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載</small>	助成金として捉えられ、市民提案型事業の終了後事業を廃止する団体が多い、提案書類作成等の事務に関する手間が多く、提案できる団体が限られてしまっている等の課題を解決するため、過去の採択団体との意見交換会やアンケートを実施して得た意見を踏まえ、令和3年度より、市が採択団体に対して委託し事業を実施する手法から市が採択団体に対し負担金を支払い事業を実施する手法に変更するとともに、新規団体による新しい取組に対して、手続きを簡略化し少額の支援を行うメニューを新設しました。		
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	地域課題の更なる複雑化により、ニーズは薄れていないと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	社会環境の変化に伴い事業の見直しを随時行っており、成果も上がっていると考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	日常的な事業実施支援や事業結果報告会を通じて、事業実施団体の意見、要望の把握に務め、手続きの見直し等事務改善を図ります。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	40	10	地域課題対応事業一般経費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			深谷	63121

事業の概要									
事業の概要		地域課題対応事業全般の執行に必要な事務用品の購入、複写品費、郵送などの経費支出を行い、円滑な事業推進を図ります。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		地域課題対応その他事業費			
		—	—						
地域の課題と現状		区内人口の増加や小杉地区を中心とした都市整備の進展をはじめ、社会状況が多様化する中、協働型事業の取組などを通じ、様々な地域の課題に対応していく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
	事業費	750	526	821	662	819	579	774	689
財源内訳	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	750	526	821	662	819	579	774	689

計画 (Plan)	
事業の目的	様々な地域課題対応事業の円滑な事業推進を図れるようにします。
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区のシンボルマーク及び区の木・花のシンボルマーク入り封筒の作成</li> <li>・事務用品の購入及び複写品、郵送料等の経費支出</li> </ul>

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った					
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・資料送付等に使用する区のシンボルマーク入りの封筒(長3形/8,000枚、角2形/5,000枚)作成し、各課で使用</li> <li>・各課で使用する事務用品の購入、複写品、郵送料への支出</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1				目標				
					実績				
	2				目標				
					実績				
	3				目標				
					実績				
	4				目標				
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内人口の増加やまちの進展に伴い、様々な地域課題に対応していく必要があります。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	各事業を実施するにあたり、必要不可欠な経費であると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	各事業が円滑に執行していることから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性がある。	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	各事業の所管課と協議しながら、適切な経費の執行を進めていきます。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性		
地域課題対応事業の執行において、事務用品等は必要不可欠な経費であることから引き続き事業を継続していきます。		

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	45	05	中原区役所サービス向上事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			635500		区民サービス部区民課		福岡	63231	

事業の概要									
事業の概要		「区役所サービス向上指針」に基づき、区役所を訪れる来庁者に対し、より質の高い区役所サービスを提供することを目的に、職員研修の実施、窓口環境の検討・改善を進めます。							
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業	区役所サービス向上事業費				
		—	—						
地域の課題と現状		区役所内すべての部署で構成する「中原区役所サービス向上委員会」を中心に、アンケート結果や外部評価実施結果報告に基づく職員研修の実施、窓口巡回結果等を踏まえた窓口環境の検討・改善を進め、区役所サービスの効率的・効果的、総合的な実現に向けた取り組みを行っていく必要があります。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	1,540	1,024	1,500	877	1,458	458	1,470	1,316
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	1,540	1,024	1,500	877	1,458	458	1,470	1,316

計画 (Plan)	
事業の目的	「区役所サービス向上指針」(平成28年4月改定)に基づき、区役所が主体となり中原区の特徴に特化したサービスの向上に取り組みます。
今年度の事業の取組内容	区役所サービス向上取組方針の策定、各課取組目標の策定、サービス向上委員会推進リーダー会議各部会事業計画の策定、区役所サービス向上方針及び各課向上目標の区役所ホームページでの公表

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度	2		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った				
取組内容の実績等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●区役所サービス向上取組方針・各課取組目標の設定および区役所ホームページでの公表</li> <li>●サービス向上に資する研修として「話し方研修」「先輩職員と一緒にシゴトを考えてみる座談会」を実施</li> <li>●川崎フロンターレの協力で作成した「フロンターレデザイン婚姻届」の配布</li> <li>●区役所窓口の「おもてなしの心」を伝える「マスクの下は笑顔です」ポスターの作成・掲示</li> <li>●動画「5分でわかる中原区への引っ越し手続き」を中原区Youtubeチャンネルで公開</li> <li>●デュエットフォンのリニューアル工事</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1 活動指標	サービス向上に資する研修	目標	60	60	60	30	人	
			実績	37	54	12	44		
	2		目標						
			実績						
3		目標							
		実績							
4		目標							
		実績							

評価 (Check)	
事業を取り巻く社会環境の変化	区役所サービス向上方針に基づいて設定した「目標及び具体的な取組内容」及び「実施結果及び目標の達成度」をサービス向上委員会へ報告しています。区役所サービスのより一層の向上を図るため、継続的・安定的な取り組みが求められています。
事業の見直し・改善内容	<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 27 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施 ( 年度から)
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載	平成27年度にサービス向上委員会で組織する「窓口環境」と「ユニバーサルサービス」の2つの部会を「窓口環境・ユニバーサルサービス」として、一つの部会に集約し、効率的な執行体制を図るために事業分担の見直しを行いました。

評価項目			評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a	
	評価の理由	市民目線に立ったきめ細やかな相談支援や、利便性が高く分かり易い窓口サービスの提供体制の整備に向けての整備を進めるために、ニーズは高く継続して実施していく事業と考えられます。		
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a	
	評価の理由	職員研修をはじめ、待合フロアなど市民が利用しやすい環境づくりの取り組みを継続的に行うことにより、着実に成果が上がっていると考えられます。		
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b	
	評価の理由	「市民目線に立った行政サービスを総合的に提供する区役所」に向けて取り組みを進める必要がありますが、区役所全体として継続的・安定的に取り組む執行体制としては課題があります。		

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	質の高い区役所サービスを提供していくためには、職員研修など事業手法の見直しなど改善を図り、事業の成果の向上を目指して継続していきます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	45	10	中原区役所混雑緩和・環境改善事業費			
担当			所属コード		所属名		担当者	連絡先	
			651600		まちづくり推進部総務課		鳥山	63114	

事業の概要									
事業の概要		平成18年度から始まった武蔵小杉駅周辺の再開発により人口の流入が著しく、区民課各窓口が混雑しています。特に区民課では年度末から5月の大型連休明け頃までの混雑が激しく、例年待ち時間が発生しています。今後も武蔵小杉駅を中心とした大型集合住宅の建設計画があり、令和5年度まで人口の増加が見込まれています。							
実施期間		事業開始年度		事業終了年度		予算中事業		区役所サービス向上事業費	
		—		—					
地域の課題と現状		平成18年度から始まった武蔵小杉駅周辺の再開発により人口の流入が著しく、区民課区役所各窓口が混雑しています。特に区民課では年度末から5月の大型連休明け頃までの混雑が激しく、例年待ち時間が発生しています。今後も武蔵小杉駅を中心とした大型集合住宅の建設計画があり、令和5年度まで人口の増加が見込まれています。							
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度	
		予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額	予算額	決算額
財源内訳	事業費	3,511	1,761	1,132	1,089	780	242	588	77
	国庫支出金								
	市債								
	その他特財 一般財源	3,511	1,761	1,132	1,089	780	242	588	77

計画 (Plan)	
事業の目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>混雑期における待ち時間の短縮</li> <li>区役所全体のハード面の整備</li> </ul>
今年度の事業の取組内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の見直し、工夫、混雑期の庁内職員応援体制の確保</li> <li>区役所中庭の整備</li> </ul>

実施結果 (Do)										
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり 4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った						
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>業務の見直し、工夫について、各課が実施している良い取組み事例を集約し、区内で共有した。</li> <li>区役所敷地内の芝生広場の整備</li> </ul>								
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標				H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1					目標				
						実績				
	2					目標				
						実績				
	3					目標				
				実績						
4					目標					
					実績					

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		武蔵小杉駅周辺の再開発により、現在も人口の増加が続いている。	
事業の見直し・改善内容		<input checked="" type="checkbox"/> 実施 (直近)平成 29 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直し履歴も記載できる場合は記載		区として独自に導入していた「なかはらWi-Fi」については、「かわさきWi-Fi」に統一され、需用費及び役務費については、平成29年度から削減しました。待合環境改善(駐輪場整理業務委託)については、中原区役所管理運営費の「庁舎案内・庁中取組み及び駐輪場整理業務委託」で対応することとし、平成29年度は委託料を使用しませんでした。	
評価項目		評価	
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	人口の増加が続いており、事業のニーズは高いと考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	芝生広場の整備を行った事で区民の方達の憩いの場等として日々たくさんの方がお見えになっています。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性があるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	令和3年度の秋頃に芝生広場ができたため、令和4年度に初めて年間を通して芝生の剪定作業を行います。令和4年度は年間5回の剪定を行う予定のため、その結果を参考として令和5年度の剪定回数を見直しを行う予定です。	

改善 (Action)			
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性	実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II	業務の見直し、工夫について、各課が実施している良い取組み事例を集約し、区内で共有していきます。区役所全体のハード面の整備を行っていきます。

# 令和3年度 地域課題対応事業評価シート(中原区)

地域課題対応事業 予算コード						地域課題対応事業 予算小事業名称			
款	項	目	大	中	小				
11	01	04	26	50	05	区の新たな課題即応事業費			
担当			所属コード		所属名			担当者	連絡先
			651650		まちづくり推進部企画課			深谷	63121

事業の概要										
事業の概要		年度途中に発生する新たな課題に対応し、課題解決に向けた取組を推進します。								
実施期間		事業開始年度	事業終了年度	予算中事業		区の新たな課題対応事業				
		—	—							
地域の課題と現状		区内人口の増加や小杉地区を中心とした都市整備の進展をはじめ、社会状況が多様化する中、新たな課題に迅速に対応し、住み良いまちづくりを進めていく必要があります。								
予決算 (単位:千円)	年度	H30年度		R01年度		R02年度		R03年度		
		事業費	5000	1629	5,000	4,779	5,000	1,465	5,000	2,950
		財源内訳								
		国庫支出金								
市債										
その他特財										
一般財源	5000	1629	5,000	4,779	5,000	1,465	5,000	2,950		

計画 (Plan)	
事業の目的	年度途中に発生する新たな課題に適切かつ迅速に対応する事業を実施し、課題解決を図ります。
今年度の事業の取組内容	年度途中に発生する新たな課題に対応する事業を実施

実施結果 (Do)									
上記取組内容に対する達成度		3		1. 目標を大きく上回って達成 2. 目標を上回って達成 3. ほぼ目標どおり		4. 目標を下回った 5. 目標を大きく下回った			
取組内容の実績等		<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症感染拡大対策に要する備品の購入(空気清浄機等)</li> <li>新型コロナウイルス感染症感染拡大対策に要する消耗品の購入(パルスオキシメーター、OA用品等)</li> <li>井田病院階段段数プレート設置</li> <li>土のうステーション設置事業</li> <li>区役所装飾プロジェクトを契機とした来庁者向け案内掲示物集約事業</li> </ul>							
数値で把握することが可能な取組	指標分類	指標			H30年度	R01年度	R02年度	R03年度	単位
	1	目標							
		実績							
	2	目標							
		実績							
	3	目標							
		実績							
	4	目標							
実績									

評価 (Check)			
事業を取り巻く社会環境の変化		区内人口の増加やまちの進展に伴い、新たに発生した地域課題に迅速かつ確に対応していくことが求められています。	
事業の見直し・改善内容		<input type="checkbox"/> 実施 (直近) 年度 <input type="checkbox"/> 今後実施( 年度から)	
具体的な見直し・改善内容 ※過去に見直した履歴も記載できる場合は記載			
評価項目			評価
必要性	事業を取り巻く社会環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていないか	a. 薄れていない b. 薄れている	a
	評価の理由	年度途中に発生した課題に迅速に対応するにあたり必要な事業であると考えられます。	
有効性	活動結果(活動指標等)に対し事業の成果(成果指標等)は順調に上がっているか	a. 上がっている b. 上がっていない	a
	評価の理由	課題に対し迅速に対応したことから一定の成果があったと考えられます。	
効率性	事業の成果を維持しながら、役割分担、契約方法、仕様の見直しなどによる経費削減や事務手続きの見直しなどによる事務改善の可能性はあるか	a. 可能性はない b. 可能性はある	b
	評価の理由	直面した課題に対し、その都度必要とされる経費等を精査しながら進めています。	

改善 (Action)		
今後の事業の方向性	方向性区分	方向性
	I. 現状のまま継続 II. 見直し・改善のうえ継続 III. 事業終了	II 区内人口の増加やまちの進展に伴い、災害対応や年度途中における新たな課題にも迅速に対応することも必要であり、今後もこれらの課題に優先順位をつけながら取り組んでいきます。